

みらい応援ファンド

県内中小企業者等が、高度技術又は新製品の開発、高度技術を利用した製品の高付加価値化、生産工程の合理化、地域資源の開発等を図るため、県内の大学、工業高等専門学校又は公設試験研究機関と連携して共同研究を行う取組を支援します。



事業区分	対象者	助成率	助成限度額
高度技術産業集積地域型	高度技術産業集積地域(秋田市)に主たる事業所・事務所を有する中小企業者等	3/4以内	300万円
一般地域型	高度技術産業集積地域(秋田市)以外に主たる事業所・事務所を有する中小企業者等	2/3以内	250万円

募集期間

令和3年 **6月9日水**～**7月21日水**

事業期間

助成金交付決定の日から1年以内

ただし同じテーマで2回目の事業を実施する場合は、改めて申請を行い、審査を受ける必要があります。

応募方法

募集開始後、募集要項・申請書等を当センターウェブサイトから電子データ入手し、御確認ください。(https://www.bic-akita.or.jp/)

応募前に内容を確認しますので、ウェブサイト上の募集要項・注意事項を御覧いただき、事前相談申込書を御提出のうえ、締切2週間前までに事前相談を受けてください。

お問合せ先・申請書提出先 / 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702 FAX.018-860-5612

元気な企業を応援する
ビジネスマガジン
ビックあきた

公益財団法人
あきた企業活性化センター

06

2021 vol.479

経営探訪 ● 株式会社美煌

職人技を高めて地域の光を目指す

04 センター活用事例
[インスペック株式会社]

05 オンリーワン企業紹介
[よしかタンポポプランニング]

06 Made in Akita
[生はちみつ食パン専門店ローズメイ]
(株式会社ローズメイ 秋田事業所)

07 主催事業報告

08 経営サプリメント

10 お知らせ

株式会社 美煌





素早い手つきで、入念に確認をしながら塗装を重ねる。

株式会社美煌 びこう

経営探訪

職人技を高めて地域の光を目指す

チャレンジ精神旺盛な社長のもと、確かな技術と企業革新により、その規模を拡大している「美煌」。夢を実現し続けている社長の現在地、そして掲げる未来とは。

▶▶ 掲げた目標を着実に実現

象潟漁港や鳥海山の頂を目前に望む自然豊かな場所で、職人技を次世代に継承しようと奮闘している若き社長がいる。にかほ市象潟の株式会社美煌は、粉体塗装や静電塗装、焼き付け塗装、樹脂塗装などの機械塗装とシルク印刷を手がけ、法人化して今年で4年目を迎える企業だ。「プラモデル作りが好きで、十代の頃からエアブラシを使うのが楽しかった」と話す齋藤克彦社長は、地元の塗装会社に就職後、30歳までに独立する計画を持ちながら、技術を磨いてきた。リーマンショックの影響から一度断念するものの、「自分のビジョンで仕事をして、技術を伝えていきたい」という思いを持ち続け、35歳になる年に自分の城を構えた。

2018年に法人化し、工場を移転・拡張。その後、社長自らが習得したシルク印刷の技術を2020年から新事業に加え、塗装からシルク印刷までワンストップで対応できる体制を確立した。丸い面にもシルク印刷ができる技術を持つ企業は県内でも数少ないという。

現在は県内全域のほか山形県からも受注しており、新型コロナが収束した先には、関東や関西への営業も計画。「お客様からの、『肌(注：仕上がり)が違う』という言葉にやりがいを感じる」と話す齋藤社長は、「品質管理の徹底と納期厳守は絶対」という信念のもと着実に事業を拡大している。

▶▶ 外国人技能実習生を積極採用

事業拡大に欠かせない人材確保と、「ここで止まらず、海外にも技術を伝えたい」という齋藤社長の思いから、美煌では2020年4月よりベトナムからの技能実習生3名を迎えている。「技能実習生を受け入れている近くの業者さんの話をきいて興味を持ち、ベトナムに出向いて面接をしました。3人とも真面目で、この1年で技術がかなり向上している。期待以上の働きをしてくれて、その成果が売上にも反映されています」と齋藤社長は手応えを感じており、今年9月にさらに2名の受け入れを予定しているという。同社では、随時の中途採用と来年春には高卒の新卒採用も計画。技術の向上および継承と並行して、大ロットの案件を受注するため、ロボットの導入とライン化にも意欲を見せる。



社長自ら社員に声をかけ、積極的にコミュニケーションを図る。

▶▶ 地元の活力となれるように

高い技術を要する塗装の世界。齋藤社長は、「ただハケで塗ればいいんじゃないかと思われがちですが、様々な素材のものに塗装で模様を描くなど高度な技術が必要な場合もあり、自分だけの技術やノウハウが仕上がりにつながって評価される仕事です。色の出し方や道具の使い方などで個性が出るので、個々の得意分野を伸ばす育成を心がけています。また、頑張りに対してはボーナスなどできちんと評価するようにしています」と話す。社員には、その日の作業を終えれば、就業時間内でも自主練習ができる環境を提供している。

明確なビジョンと抜群の行動力を持ち、「分からないことがあれば、近場の仕事仲間や尊敬している諸先輩方に相談し、いろいろな人から助言をもらいながら行動を起こしてきた」という齋藤社長。地域との繋がりを大切にしている齋藤社長が目指すのは、〈にかほ市をもっと大きく〉すること。「若い人がどんどん出て行ってしまうという現状を変えたいので、まず地元の若い人たちに、市内や県内にも当社のように自身のスキルを磨ける企業があるんだということを知ってもらいたいですね」。

〈美しく煌めく塗装屋さんになりたい〉という想いで名付けた社名のように、美煌は地域を照らす光を確かに放ち始めている。



①集中して塗装を進める技能実習生のトゥンさん。②5000mmの製品まで焼き付け塗装が可能な乾燥炉を設置。③丁寧な研磨が美しい仕上がりに繋がる。④工場内は環境管理が徹底されている。

「品質管理の徹底と納期の遵守」をモットーに、誰から見ても仕上りの良い塗装ができるよう、社員一同、技術向上に努めています。

代表取締役 齋藤 克彦
さいとう かつひこ



株式会社美煌

〒018-0108 秋田県にかほ市象潟町字入湖ノ潤27-1
TEL.0184-74-6264 FAX.0184-74-6265 <https://株式会社美煌.jp>

創業/2015年 資本金/300万円 従業員数/13名
業務内容/光学機器・医療機器・精密板金・各種焼付塗装・シルク印刷



Point

デザインの要点を
教えていただき、
製品のより効果的な
アピールに
つながりました。

代表取締役 菅原 雅史 すがわら まさし(左)

DI開発部部长 兼 社長室室長 菅原 亮太 すがわら りょうた(右)

センター活用事例

〔PR支援〕

インスペック株式会社

〒014-0341 秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
TEL.0187-54-1888 FAX.0187-54-3195
<https://www.inspec21.com>



世界を舞台に挑戦を続ける半導体関連検査装置メーカー

総合力でニーズに対応

暮らしのIoT化が進む中、急成長を遂げている半導体市場。仙北市角館に工場を構えるインスペックは、半導体パッケージ基板の検査装置メーカーとして国内外で活躍の場を広げている県内製造業で唯一の東証上場企業だ。同社は、菅原雅史社長が1984年に電子部品組立の下請けとして創業した。メーカーとして自立することを目指し、〈自主独立〉の精神のもと自動化・省力化装置の自作からはじめ、1996年には半導体関連部品の検査装置の開発に着手し、翌年に販売を開始。2000年代には、外観検査の要素技術とサービス部門を自社で保有する体制を確立し、以来、顧客の新たな要求に総合力で応え続けている。常に革新を重ねるその技術力は、国内外の半導体パッケージ基板メーカーから高い評価を得ている。

企業力向上のために

2019年、同社は新分野の需要を取り込むため、フレキシブルプリント基板のレーザー露光装置を開発した。2020年にはホームページを刷新するなど、時代に合わせた情報発信も強化している。「ウェブサイトや新製品のチラシデザイン検討にあたり、活性化センターのデザイン支援での専門的かつ具体的なアドバイスがとても参考になりました」とDI開発部の菅原部長。

Aターンの従業員を多く迎えているほか、3年前から新卒を定期採用し、ワークライフバランスの面でも働きやすい環境を整えながら、日進月歩の技術開発に励んでいる同社。菅原社長は、世代交代を見据えた人材育成に取り組みながら、レーザー露光装置を検査装置と並ぶ事業の両輪として成長させていきたいと意気込む。

活用事例

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言や、デザイナーとのマッチング、コーディネートを支援します。

【お問い合わせ】 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614

ONLY ONE

オンリーワン企業紹介

タンポポで地域再生を目指す
NPO法人よしかタンポポの会。
企画販売を担うよしかタンポポ
プランニングでは、稀少な日本
タンポポを使用した様々な商品
を開発している。

タンポポで町おこし！ たんぽぽ博士の挑戦

“郷づくり”にける情熱

学校が消え、農協が消え、過疎化していく地域——。故郷の復活のため、今野孝一さんは先陣を切って走り続けてきた。再生を担うのは、峰吉川地域で栽培される日本タンポポ“よしかタンポポ”だ。「タンポポで地域おこしをしようと決めたのは約20年前。ブランド化の前例がなく、環境指標植物であることから、豊かな自然環境や作物の安全性をアピールできるシンボルになると考えました」。今野さんは、地域の講演会や市の活性化事業に参加し同志を増やしながら、よしかタンポポの栽培に尽力。2019年、NPO法人よしかタンポポの会が発足した。

食品事業の経験をもとに、タンポポ商品の開発・販売に向かった今野さんだったが、“珍しさで売れるのでは”という期待に反しその道のりは平坦ではなかった。自社と協力工場の加工技術を武器に、道の駅や観光施設などにご当地商品の企画を提案し、信頼関係を築きながら、地道に販路を拡大してきた。開発した商品はその数なんと約80品。「人が面倒だからとやらないことをやる。大事にしているのは“泥臭さ”と“スピード感”です」。



峰吉川を日本タンポポで元気に

無添加・無農薬の日本タンポポの葉の部分を使った「よしかタンポポパウンドケーキ」や「燻り大根たんぽぽ麦酒漬け」、「タンポポ塩あめ」に加え、タンポポ以外のご当地商品も多く生み出している今野さんが目指すのは、「よしかタンポポコーヒー」を主力商品として安定的に出荷するための栽培・生産体制を確立すること。まろやかでやさしい苦みが特長のタンポポコーヒーは、貴重な根を丁寧な手作業により粉末化し、繰り返し焙煎して完成する。古くから漢方薬として使われるタンポポは栄養豊富で、ノンカフェインのため妊娠・授乳中でも飲むことができる。秋田杉を使用した高級感のある箱で、贈り物にも喜ばれているという。

タンポポの研究や商品開発をするうちに、いつしか「たんぽぽ博士」と呼ばれるようになったという今野さん。約20年前、今野さんが峰吉川で採取した1本のタンポポは、長い年



月をかけて10万本にまで増えた。郷土を愛するたんぽぽ博士の挑戦はまだ続く。

豊かな大地の香りが広がる
「よしかタンポポコーヒー」

よしかタンポポプランニング

〒019-2431
秋田県大仙市協和峰吉川字高見47
TEL.018-838-7575
<https://yoshika-tanpopo-pl.com/>

●会社概要

2019.6設立。日本タンポポ(商標はよしかタンポポ)の葉や根を使用しての商品開発、製造。道の駅を中心とした卸販売。オンラインショップでの小売、通信販売。地域の特産品を使用したオリジナル商品開発、製造。コンサルタント。講演。

代表
今野 孝一
この こういち



Made in メイド イン アキタ AKITA

毎日の食卓に、 健康と幸せを。

大仙市に工場を構え、薔薇とはちみつを中心とした商品づくりを展開する株式会社ローズメイ。2021年3月にオープンした「生はちみつ食パン専門店」は、開店以来、連日商品を買求める客が絶えない人気店となっている。

こだわり製法の“健康食パン”

「ここまで反響をいただけるとは思っておらず驚いています。嬉しい限りですね」と笑顔を見せるのは三代目社長の原田青さん。東京に本社を置く同社だが、この専門店を秋田に出店した背景には、原田さんの秋田に対する想いがあった。「初代の祖父の頃から秋田にはお世話になっています。秋田には良いものが沢山ある。商売を通じて秋田のPRもできたらと考えています」。

ローズメイの食パンは全4種。添加物は一切使用せず、原材料を全て明記している。特に注目を集める生はちみつ食パンは、砂糖の代わりにアカシヤはちみつを100%使用。砂糖不使用のため発酵が進みにくく、開発には苦労があったと原田さんは語る。安全で安心だけでなく、美味しさも抜群。前日仕込みで長時間発酵熟成させた生地は、当日はもちもちの食感に、リピーターも多い。「“健康食パン”がキーワード。ぜひ普段の食生活に使っていただきたいです」。



“チーム秋田”で創り上げた温もりの空間

「“健康で幸せ”をお福分けする」というテーマを表現した店舗は、自然と木の温かみが伝わるナチュラルなデザイン。店内にはオニグルミの木がふんだんに使われ、みつばちの巣箱をイメージした窓からはパン工房の様子を見ることが出来る。さらに、床にはハニカム構造を模した六角形のタイルが敷かれ、足を踏み入れた瞬間にローズメイの世界が広がる。「今回とても嬉しかったのは、この素敵な空間を秋田の仲間で作れたことです」と語る原田さん。店舗デザインと内装は、北秋田市の設計事務所と家具職人が手がけ、県南の工務店が施工。「秋田にこんなに凄い人たちがいるのかと思いましたね。出来上がったときは本当に感動しました」。

社長就任から8年、徐々に仲間が増えて今まで以上に秋田のことを意識するようになったという原田さん。「コロナで

大変な世の中ですが、チームプレーで秋田の元気を一緒に作っていきたいです」。今後、県外への出店も視野に入れる同社。ローズメイの「お福分け」は、この秋田の地から広がっていく。

生はちみつ食パン専門店 ローズメイ

〒010-0954 秋田県秋田市山王沼田町11-6
TEL.018-827-6891
営業時間／11:00～18:00(売切れ次第終了)
定 休 日／火・水曜

株式会社ローズメイ 秋田事業所

〒019-1611 秋田県大仙市太田町齊内北182-3
TEL.0187-88-1783
https://www.rosemay.jp/

●株式会社ローズメイ 会社概要
食品・基礎化粧品・環境・リラクゼーション 開発 製造 販売

代表取締役
原田 青
はらだ せい



主催事業報告

次世代ヘルスケア関連 ビジネスセミナー

健康の願いを叶える秋田のビジネスとは

新たな産業分野として注目が高まる「次世代ヘルスケア産業」。あきた企業活性化センターは、この新産業を担うあるいは参入を検討する県内事業者への情報提供を目的として、2021年2月18日に「次世代ヘルスケア関連ビジネスセミナー」を開催した。セミナーは秋田市のALVEシアターを会場とし、リモートと合わせて33名が参加した。

はじめに、秋田県地域産業振興課より、秋田県次世代ヘルスケア産業協議会の活動報告と今後の方針説明が行われ、その後、ヘルスケア事業に取り組んでいる県内外の企業による講演、質疑応答が行われた。



誤嚥防止を目的とした製品 「タン練くん」の開発と販売 について

株式会社リハートテック
取締役 笠原 直樹氏
かさはら なおき

歯科医師として30年以上の経験を持つ笠原氏。「老人ホームの訪問口腔ケアで誤嚥に苦しむ高齢者の現状を目の当たりにし、加齢により衰える嚥下力を高める重要性を痛感した」と開発に至った経緯を述べた。口腔嚥下機能訓練具「タン練くん」は、水やお茶を入れて飲むことで舌や喉周りの筋肉を鍛えることが可能。3か月の使用で舌圧が平均10～15Kpa上がったという検証データが紹介された。「誤嚥性肺炎の主たる要因が舌圧低下であることが明らかにされています。舌圧を鍛えて誤嚥を防ぎ、生き生きと過ごせる社会にしたい」。



遊びと運動機能促進を 融合したプログラム 「デジレク」の開発と販売

株式会社ゼロウム
代表取締役 伊藤 茂之氏
いとう しげゆき

課題解決型介護福祉機器開発事業の採択を受け開発。測域センサにより壁面・床面をインタラクティブコンテンツ化するシステム「インタラクティブウォール(自社開発)」が使用され、1プレイ3～6分程度のゲームが楽しめる。期待できる効果は、身体動作の改善や運動不足・ストレスの解消等。「楽しい!という気持ちが自主的活動の大きな動機となり、効果的なリハビリやレクリエーションに繋がる」と伊藤氏。「手裏剣ざんまい」「屋台の射的」等のコンテンツを実演した。



秋田ご当地サプリメント 「潤彩小町」開発～拡販 から見る収穫と課題

株式会社サノ
代表取締役 佐野 宗孝氏
さの むねたか

グループが運営する薬局をご利用いただくお客様の生の声を拾い、便通改善を狙った商品を開発した。秋田県産の酒粕とじゅんさいを掛け合わせたサプリメントを秋田県総合食品研究センターと共同研究。ECサイト等の販売チャネルの他、美容業界からのオファーによる原料供給の例を紹介。発売後に見えた収穫と課題として、パッケージ・広告への効能表示の問題や4P戦略の難しさを挙げた。「健康食品市場を熟知し、逆算して商品設計を。“良いものだから絶対売れるはず”では売れない」。



参加者の声

秋田医療福祉株式会社
代表取締役社長 佐藤 龍馬氏
さとう りょうま

当社では、不動産事業、市清掃センター運営管理受託、介護事業、メディカルサプライ事業を行っております。秋田で活躍される先輩方がどのように新たな取り組みに挑戦されているのか勉強をさせていただきたく参加しました。世の為人の為に開発製造し、利益は後から付いてくること、発想の転換や未来を見据えての事業展開を考えると、戦略の難しさなど大変参考になりました。

若者の県外就職が増えていますが、若い発想で、県内でも挑戦できると感じました。今後は海外に向けて事業展開を行う予定です。先輩方の発想・戦略が実りある刺激になりました。



村田システムコンサルタント事務所
代表 村田 祐介 むらた ゆうすけ
大仙市出身。宇宙航空研究開発機構（JAXA）と国際宇宙機関（NASA等）との人工衛星の追跡管制のためのセンタ間データ中継、および地球観測データの通信ネットワークシステム等の設計・開発に33年に渡り従事。また、所属していた企業による人工衛星とその地上システムの開発に参加。ソフトウェア開発におけるヒューマンエラーの研究等の経験も持つ。Aターン後も、監視・制御、TCP/IP通信、データ評価等を中心としたシステム設計・開発に携わる。

宇宙を、空を使ってみませんか(2)

宇宙や空の使い方のひとつに地球の観測があります。地球の観測にはリモートセンシングと呼ばれる技術が使われています。

リモートセンシングとは

リモートセンシングとはリモート（離れたところ）からセンシング（観測）する技術（遠隔探査技術）です。物に触れることなく、その大きさや形、性質調べることができます。人工衛星によるリモートセンシングを衛星リモートセンシングと呼びます。

物質から反射、放射される電磁波の特性は、その物質の種類や状態によって異なります。衛星リモートセンシングでは、人工衛星に搭載したセンサで地球上からの電磁波を観測します。電磁波とは、光や電波など電磁的エネルギーが空間を振動しながら伝播していく物理現象です。電磁波には人間の目に見える光（可視光）をはじめ、X線、紫外線、赤外線、マイクロ波などがあります。この電磁波を捕らえるためのセンサの分類と観測方法を下表に示します。

セ ン サ		観 測 方 法	用 途 例
光 学 セ ン サ	可 視 ・ 近 赤 外	太陽光が地上の物体に当たることによって反射する可視光線や近赤外線を捕らえて観測する方法です。	植物、森林、田畑の状況、河川や市街地などの地表の状態
	熱 赤 外	太陽の光を浴びて暖められた地表の表面から放出される熱赤外線を捕らえて観測する方法です。	地面や海の表面温度
マイクロ波センサ	能 動 型	衛星に搭載したセンサからマイクロ波（電波）を発射し、地表面から反射されるマイクロ波を捕らえて観測する方法です。	山や谷などの地形
	受 動 型	地表面から自然に放射されているマイクロ波を観測します。	海面温度、積雪量、氷の厚さ

農業での事例

私たちの身近なところでどのようにリモートセンシングが使われているか、農業、漁業について事例を紹介します。最初に秋田県の農業にはかせない稲作への応用です。

粘りが多く柔らかいご飯の条件は、米のタンパク質の含有率が低いことです。肥料の量が多いと、米のタンパク質が増えてしまいます。衛星画像により稲の色の違いからタンパク質含有率を推定し、肥料の調整や米の収穫時期を知ることができます。青森県の農林総合研究所では同県のブランド米の収穫適期を水田1枚ごとに予測しWebアプリで農家に提供しています。

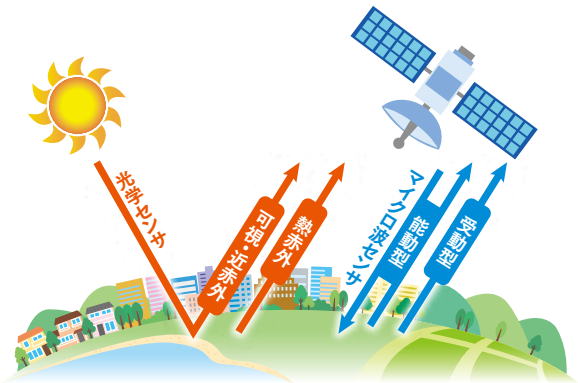
タンパク質含有率の推定には衛星画像の「緑」と「近赤外」の波長を、収穫時期の判断には「赤」と「近赤外」の波長を利用しています。また、田植直後の衛星画像を利用して土壌の色の違いから肥沃度（腐植含量）の推定も行われています。

漁業での事例

カツオ、サンマ、イカなどの漁では、漁場探索時間の短縮や漁獲高の向上にリモートセンシングが活用されています。

魚が集まりやすい場所の要素として、水温と潮目、餌、潮流が挙げられます。マイワシなら18～25℃、カツオは20～28℃という具合に、それぞれの魚には種別毎に適水温があります。また、海水温の温度差が大きい場所を潮目と呼び、その手前に魚が集まります。潮目には餌となる動物プランクトンや小魚が集まりやすいからです。また、カツオ漁場は海面温度の高い場所にあります。

海面からの熱放射から海水温、海の色やクロロフィル濃度から植物プランクトンの量、海面高度から潮の流れがわかります。これらの情報は人工衛星に搭載したセンサから得ることができます。人工衛星から取得したデータと実測したデータを比較しながら精度を高め、複数のデータを重ね合わせることで漁場を絞ってゆきます。どのような条件で魚が多く集まる場所を特定できるか、衛星観測データから機械学習を用いて漁場の推定モデルを構築している企業もあります。



衛星観測データを使ってみよう

衛星観測データおよびその分析などのための開発環境を無償で利用できる「Tellus（テルス）」と呼ばれる衛星データプラットフォーム（<https://www.tellusxdp.com/ja/>）があります。衛星観測データで具体的に何ができるのかを試したり、それを活用した分析や開発をしたりするのは敷居が高そうに感じますが、Tellusにより誰もが衛星観測データに簡単にアクセスできます。

Tellusが提供するサービスには以下のようなものがあります。

- 衛星データの可視化
- 解析、分析を行うための統合開発環境の提供
- 衛星データ、地上データの提供

宇宙を、空を使ってみませんか

ひと昔前までは、個人で衛星観測データを入手し解析するにはとてもハードルが高く、知識の習得にもかなりの時間がかかりました。しかし、今日ではgoogleマップで地図を見るような感覚で衛星観測データを扱うことができます。データを取得するための人工衛星も大学や民間、自治体などでも打ち上げられるようになり、さらに民間のロケット打ち上げ施設もまもなく完成します。

宇宙が身近になった今、私たちの生活や仕事にそれを活用しない選択はないでしょう。

食品製造事業者を対象とした 講座を開催します！

令和3年度 **あきた食品事業マネジメント力講座**のご案内

受講料
無料!!

※交通費等各自負担

各コース
定員15名

6月募集開始予定

講座概要

テーマに合わせて **2つのコース** をご用意しました。ぜひふるってご参加ください！

※講座の詳細は変更になる場合があります。

製造マネジメントコース

生産性向上のための生産手法を学びたい！
食品工場のコスト管理に取り組みたい！

- 工場運営の基本とコストマネジメント
▶自工場のコスト課題を確認
- 食品工場における品質と安全のマネジメント
▶HACCAPの理解
- 生産管理と生産性向上及びクレーム対応
▶自工場の生産管理課題を確認
- 課題整理と改善検討（工場改革計画）について
▶工場改革プランに向けたテーマ設定の考え方



県外展開マーケティングコース

競争力のある商品づくりを学びたい！
商品を県外へ売りたい！

- バイヤーから見た地域商品の評価
- FCPシートの作成方法
- マーケティング4Pと6W3H
- 自社の構造分析
- 地域商品導入、商談力の向上
- 展示商談会、商談力の強化
- 本気で勝てる地域ブランド 首都圏で売る！
- 小売りの視点から見た販売に結びつくポイント



講座の中で、両コース合同で行う「特別講座」や「拡大交流会」を開催します！
両コースの受講者同士のほか、過去の修了者や支援機関等、様々な方と交流を深めることができます。

特別
講座

テーマ

“食品包装(ピンホール・圧着不良対策等)について～HACCAPの観点から～”
“食品安全・信頼確保・品質管理”にスポットをあてて学びます。

日程

※原則、全4回と特別講座・拡大交流会の全てにご参加いただきます。

	製造 マネジメントコース	県外展開 マーケティングコース	会場・時間
第1回	7月8日(木)	7月13日(火)	秋田県生涯学習センター 10:00～16:00
第2回	8月19日(木)	8月24日(火)	
第3回	9月16日(木)	9月28日(火)	
特別講座	10月5日(火)		秋田県生涯学習センター 13:30～16:30
第4回	10月26日(火)		ホテルメトロポリタン秋田 ※交流の内容は現在調整中！ [現時点予定] 第4回 10:00～12:00 拡大交流会 13:30～16:30
拡大交流会			

そうご期待！

主催 秋田県

産業労働部 地域産業振興課 食品工業班
TEL.018-860-2224 FAX.018-860-3878

運営事務局 秋田県中小企業団体中央会

事業振興部 工業振興課
TEL.018-863-8701 FAX.018-865-1009

詳しくは
県ウェブサイト
をご覧ください▶



秋田でビジネス、 応援します！

あきた企業活性化センターでは、新分野進出や経営革新等を支援する事業を行っており、この活動に賛同していただける賛助会員を募集しています！
年会費は1万円で、当センターの企業情報誌『ビックあきた』にて経営に役立つ情報を提供いたします。企業・団体・個人等、どなたでもご入会いただけます。
また、有料広告・無料広告の掲載についても随時募集しております！



会員特典が盛りだくさん！ 賛助会員募集

年会費／¥10,000 賛助会員広告を無料で掲載！

主な
会員特典
1

当センターが発行する
月刊情報誌『ビックあきた』を
無料で配布〈12カ月分〉

毎月1日に3,000部発行。マスコミ各社、金融業界、
商工団体、議員、賛助会員等へ配布しています。

主な
会員特典
2

賛助会員広告が無料

毎月2社程度。
A4・1/4頁(5.6×19.0cm) カラー印刷。
素材やテキストをご提供いただければ
デザインのご提案も可能です。

主な
会員特典
3

当センターホームページの
リンク集への掲載

主な
会員特典
4

企業情報やPR用の
リーフレットへの折り込み

※要事前相談

主な
会員特典
5

有料広告欄の費用が半額

A4・1頁 ……通常¥50,000 → 賛助会員なら **¥25,000**
A4・1/2頁 ……通常¥25,000 → 賛助会員なら **¥12,500**

その他、当センターをご活用いただ
いた事例などを取材のうえ、記事として
掲載させていただくケースもあります。

会員の方も、そうでない方でも広告を掲載しませんか？

『ビックあきた』
広告募集中！

A4・1頁 ……¥50,000 (賛助会員は¥25,000)
A4・1/2頁 ……¥25,000 (賛助会員は¥12,500)

おすすめ！

賛助会員になって
広告をおトクに活用！

賛助会員無料広告(A4・1/4頁) ※年会費¥10,000

+

有料広告(A4・1頁) 通常の半額¥25,000

||

2種の広告掲載で **¥35,000**
(有料広告をA4・1/2頁にすると **¥22,500**)



公益財団法人 あきた企業活性化センター

お問い合わせ先

総合相談課 TEL.018-860-5610 URL <https://www.bic-akita.or.jp>

ビックあきた

